

平成24年行政事業レビューシート (内閣府本府)

<b>事業名</b>	民間資金等活用事業調査等に必要な経費	担当部局	政策統括官(経済社会システム)	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度	担当課室	民間資金等活用事業推進室	参事官 上田 洋平				
会計区分	一般会計	施策名	10 民間資金等活用事業の推進(PFI基本方針含む)					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律附則第2条	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	PFI(Private Finance Initiative:公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法)は効率的・効果的な公共サービスの提供を通じた財政負担の縮減、民間の事業機会創出による経済活性化に貢献しているところであり、公益性・緊要性が高いものである。今後も公共調達の一手法として積極的に活用されるよう、PFIの推進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	民間資金等活用事業の推進を図るため、民間資金等活用事業に関する情報収集、整理、提供を定期的に実施。PFI法では少なくとも3年ごとに特定事業の実施状況について検討を加え、必要な措置を講ずるとされているため、実施状況や検討に必要な調査等を行う。平成22年に民間資金等活用事業推進委員会が公表した「中間的取りまとめ」及び政府の「新成長戦略」に示された「地方公共団体への支援体制の充実などPFI制度の拡充」について必要な措置等を実施。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	26	69	44	39	32	
		補正予算	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0			
		計	26	69	44	39	32	
	執行額	15	31	22				
執行率(%)	59%	45%	50%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		21.81	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	調査等に係る経費であるため、定量的な成果目標を示すことは困難である	成果実績						
		達成度	%					
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	〔調査の実施件数〕 ・平成23年度PFI契約に関する基礎調査 ・PFI実務マニュアルに関する基礎調査 ・平成23年度PFIモデルプロジェクト調査	活動実績 (当初見込み)		2	6	3		
				( 3 )	( 3 )	( 2 )		
単位当たり コスト	調査の実施 6,562,500(円/件)	算出根拠	調査に必要な経費(19,687,500円) / 調査の実施件数(3件)					
平成24・25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	非常勤職員手当	4.70	4.13					
	諸謝金	0.08	1.69					
	職員旅費	1.25	2.11					
	委員等旅費	0.04	2.36					
	庁費	1.58	0.95					
	民間資金等活用事業調査費	31.69	21.25					
	計	39	32					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	PFI事業は、民間の活力を公共施設の整備・管理等に活かし、低コストで質の高い行政サービスを可能とする手法である。PFI事業を推進することにより効率的・効果的な公共サービスの提供を通じた財政負担の縮減、民間の事業機会創出による経済活性化に貢献しているところであり、公益性・緊要性が高い。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
		利用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業は総合評価落札方式及び一般競争入札により適正に支出先が選定され、かつ、競争性も確保している。
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	23年度実施の各調査については、いずれもPFIの推進に直結した実効性の高い調査であり、当該調査結果を受けて、具体的にPFIを活用し、効率的・効果的な公共サービスの提供を通じた財政負担の縮減および民間の事業機会創出による経済活性化に貢献されるよう引き続き事業の推進を図る。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		類似事業名とその所管部局・府省名	
点検結果		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
		委託調査の実施に当たっては、一般競争入札及び総合評価方式にて実施する等、経費の削減に努め、また、当該調査によって被災地におけるPFI手続きの簡略化を検討し、マニュアル案として整理されたところであり、当該マニュアル案を被災地におけるPFI事業促進のために活用を図る。	
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		平成24年度に予算を削減しているが、執行実績が予算を下回っており、引き続き、事業内容の見直しを図るべき。なお、事業目的に対する適切な成果指標を設定し、調査事業の成果をどのように活用することができたかなど、事業効果の把握に努めるべき。	
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)	
縮減		執行実績が予算を下回っているのは、一般競争入札等を実施した結果、落札率が低い案件が複数発生したことによるものであるが、平成25年度概算要求においては、個々の委託調査の成果につき使途を想定した上で適正な予算単価を採用し、要求することとする。	
		また、調査内容が年度により異なるため、定量的な成果目標を年度ごとに示すことは困難であるが、日本再生戦略等に記されている2010年～2020年のPFI事業規模について少なくとも10兆円以上を目指して取組を進める。	
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

平成23年度実績を記入

内閣府  
21.808百万円

(調査監督)

事務費  
2.120百万

(諸謝金・旅費・庁費)

【総合評価入札・請負】  
A. 日本総合研究所  
8.348百万

(PFI契約に関する基礎調査)

【総合評価入札・請負】  
B. 日本経済研究所  
9.345百万

(平成23年度PFI実務マニュアル  
に関する基礎調査)

【一般競争入札・請負】  
C. 八千代エンジニアリング  
(株)1.995百万

(平成23年度モデルプロジェクト  
調査)

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する)(単位:  
百万円)

A.日本総合研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
調査費	平成23年度 PFI契約に関する基礎調査	8			
計		8	計		0
B.日本経済研究所			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
調査費	平成23年度 PFI実務マニュアルに関する基礎調査	9			
計		9	計		0
C.八千代エンジニアリング(株)			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
調査費	平成23年度 PFIモデルプロジェクト調査	2			
計		2	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

## 支出先上位10者リスト

### A. 平成23年度PFI契約に関する基礎調査

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本総合研究所	標準契約、民間事業者選定等について、地方公共団体にヒアリングを実施しPFIの活用に係る論点を整理	8	3	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

### B. 平成23年度PFI実務マニュアルに関する基礎調査

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本経済研究所	被災地におけるPFIの手続きの簡易化について検討し、マニュアル案を整理	9	2	84.6
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

### C. 平成23年度PFIモデルプロジェクト調査

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	八千代エンジニアリング株式会社	3件のモデルプロジェクトについて資料収集や分析を実施	2	3	40.7
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					